SONY

4-269-544-**02**(1)

TVサウンドバーシステム

取扱説明書

SA-32SE1/SA-40SE1/SA-46SE1

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

3 ～ 6 ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。
7 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

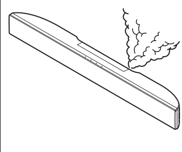
設置時や 1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら





❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


注意

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


指示


プラグをコンセントから抜く



専用の AC アダプターと電源コードを使う

付属の AC アダプターと電源コードは本製品だけで使用できる専用品です。他の製品では使用できません。また付属の AC アダプターと電源コード以外は本製品で使用しないでください。発熱により火災・感電の原因となります。



AC アダプターや電源コードを傷つけない

傷ついたまま使うと、火災や感電の原因となります。

- 加工しない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 物を載せない。ケーブルを引っ張らない。
- コンセントから AC アダプターを抜くときは、電源プラグを持ってまっすぐ抜く。
- 本体や AC アダプターにケーブルを巻きつけない。



➡ 万一、電源コードが傷んだら、ソニーサービス窓口（裏表紙）に相談してください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。



内部に水や異物を入れない 本製品の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

火災や感電の危険をさけるために、本製品を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本製品の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。本製品の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜き、ソニーサービス窓口（裏表紙）に相談してください。



分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はソニーサービス窓口（裏表紙）に相談してください。



雷が鳴りだしたら、本体、AC アダプター、電源コードに触れない

感電の原因となります。



ぬれた手で電源コードや電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



次のページへつづく



通風孔をふさがない

本体が過熱して、火災やけが、故障の原因となります。風通しを良くするために次のことを守ってください。



- 本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しない。
- 毛足の長いじゅうたんや布団の上に設置しない。
- 密閉された狭い場所に押し込まない。
- 布などで包まない。
- ほこりをためない。

長期間使わないときやお手入れをするときは、電源コードのプラグをコンセントから抜く

火災や感電の原因となります。





上に乗ったり、座ったりしない

落ちてけがの原因となることがあります。また、本製品を傷める原因となります。



大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。



本体とケーブル類は正しく配置する

ケーブルなどを足に引っかけると、本体が倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。



使用中の本体や AC アダプターを長時間さわらない

使用状況によっては、本体や AC アダプターの温度が 40 ℃以上になることがあります。この状態で長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけど * の原因となります。



* 低温やけどは、比較的低い温度（約 40 ℃以上）のものに長時間皮膚がふれたままになっていると起こるやけどのことです。

変圧器や DC/AC インバーターを使わない

海外旅行者用の変圧器や、自動車用の DC/AC インバーターなどに AC アダプターをつなぐと、AC アダプターが発熱し、やけどや故障の原因となります。



クレジットカードや定期券などの磁気製品を近づけない

本体には磁石を使った部品が内蔵されているため、磁気製品の記録に影響を与えることがあります。



本体を持ち運ぶときは気をつける

本体は、落とさないように注意して持ち運んでください。不安定な状態で持ち運ぶと、本体が落下し、けがや故障の原因となります。



本体や AC アダプターが熱いと感じたときは、使用を中止する

低温やけどや故障の原因となります。



不要になった本体や周辺機器は廃棄方法に注意する

本体や周辺機器は金属やプラスチックでできているため、燃やすと危険です。廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。



電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけがが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることもあります。


接触禁止

必ず次の処理をする

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。


指示

➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



電池は乳幼児の手の届かない所に置く

➡電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。


禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。


禁止

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。


禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。


指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

リモコンに電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。


指示

使用上のご注意

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



付属の電源コードセットについて

付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

機銘板について

機銘板は、本体の底面に貼ってあります。

本製品のお手入れのしかた

本製品の汚れは、柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

本体を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。

電池または電池を入れた機器を直射日光、火など、過度の熱にさらされる場所に置かないようにしてください。

傷害防止のため、この機器は、設置説明書に従って床又は壁にしっかりと取り付ける必要があります。

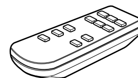
この取扱説明書について

この取扱説明書は SA-32SE1/SA-40SE1/SA-46SE1 を対象としています。この取扱説明書で掲載されているイラストは SA-32SE1 のもので、お使いの機種とは異なる場合があります。機種によって動作が異なる場合は、“SA-32SE1 のみ”と記載しています。

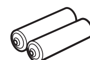
目次

付属品

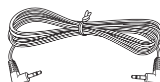
- 取扱説明書（本書）
- 保証書 (1)
- 製品登録のおすすめ (1)
- ソニーご相談窓口のご案内 (1)
- 対応表 (1)
- リモコン (RM-ANU102) (1)



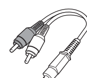
- 単 4 乾電池 (2)



- 音声接続用ケーブル (1)



- プラグアダプター (1)

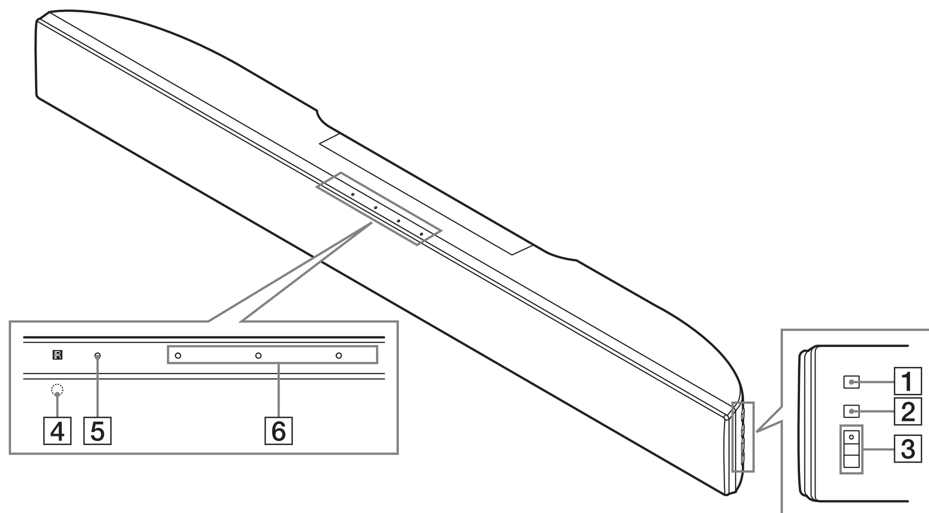


- AC アダプター (1)
- 電源コード (1)
- フットパッド (4)

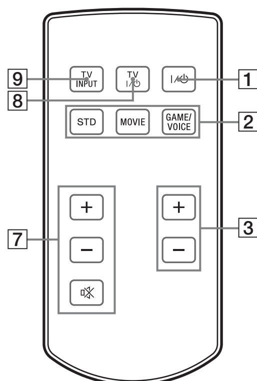
各部の名称と働き

本書では、主にリモコンのボタンを使用した操作について説明しています。本体に同じ名前のボタンまたは類似のボタンがある場合、本体のボタンでも同様に操作できます。

本体



リモコン (RM-ANU102)



1 **I/⏻（電源）ボタン**

2 **SOUND FIELD ボタン**
サウンドフィールドを選択します (16 ページ)。
本体：ボタンを押すたびに、次のようにサウンドフィールドが切り換わります。

STANDARD → MOVIE → GAME/VOICE → STANDARD → …

3 **本体：◿ +*/– ボタン**
リモコン：VOL ◿ +/– ボタン
音量を調節します。

* 本体の ◿ + ボタンには突起が付いています。操作の目印としてお使いください。

4 **リモコン受光部**
リモコンからの信号を受信します。

次のページへつづく

5 **STANDBY ランプ**
本機がスタンバイ状態のとき赤く点灯します。

ご注意
- 本機はスタンバイ状態のとき、テレビの音を検出して電源が入ります。テレビの音が非常に小さい場合は電源が入らないことがあります。
- テレビからの音がない状態が約５分間続くと本機は自動的にスタンバイ状態になります。

6 **SOUND FIELD ランプ**
サウンドフィールドの状態を示します。
選択されたサウンドフィールドのランプが緑に点灯します。
音量が最大または最小に設定されると、ランプが短く 6 回点滅します。

ソニー製のテレビをご使用の場合、本機のリモコンで 7 – 9 の操作ができます。

7 **TV VOL ◿ +/– ボタン**
テレビの音量を調節します。

TV 🔇 MUTING ボタン
テレビの消音機能を入／切にします。

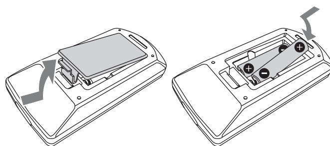
8 **TV I/⏻ ボタン**
テレビの電源を操作します。

9 **TV INPUT ⇥ ボタン**
テレビ入力を選択します。

準備する

電池を入れる

電池ホルダーの蓋をスライドさせて取りはずし、付属の単４乾電池を入れます。その際、⊖ 側から入れて、下図のように極性を合わせてください。

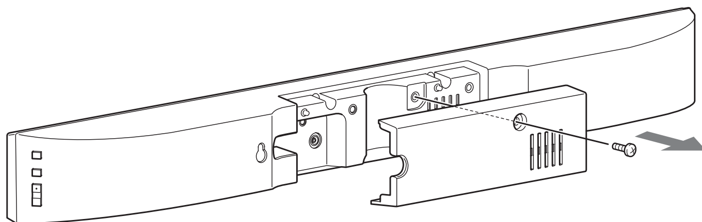


ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明の光があたらないようにしてください。故障の原因となります。
- リモコンで本機の操作ができなくなったときは、電池を２つとも新しいものに交換してください。
- 電池を交換する際に、リモコンの電池ホルダーに異物が入らないようにしてください。

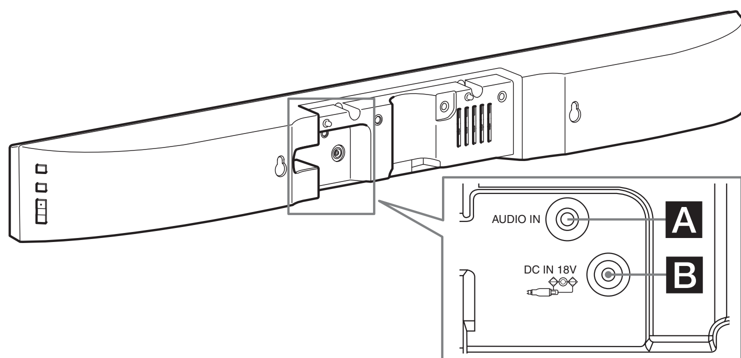
ケーブルを接続する

1 背面のリアカバーのネジを外し、リアカバーを取り外す。

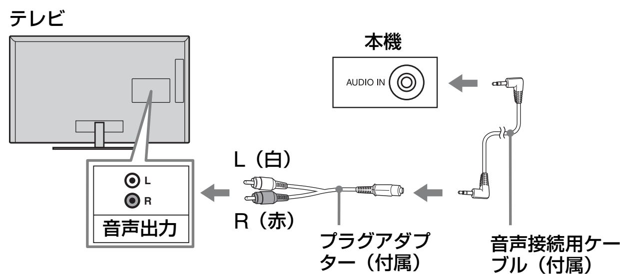


次のページへつづく

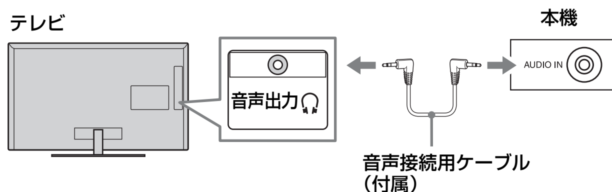
2 音声接続用ケーブルと電源コードを接続する。



A AUDIO IN 端子
付属の音声接続用ケーブルとプラグアダプターを使用してテレビの音声出力端子と本機の AUDIO IN 端子を接続します。

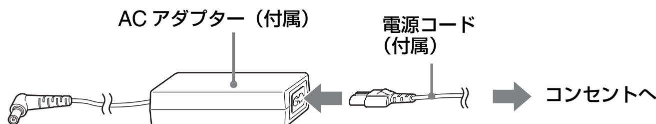


お使いのテレビの音声出力端子がヘッドホン端子と兼用の場合
付属の音声接続用ケーブルのみを使用してテレビの音声出力端子と本機のAUDIO IN 端子を接続します。



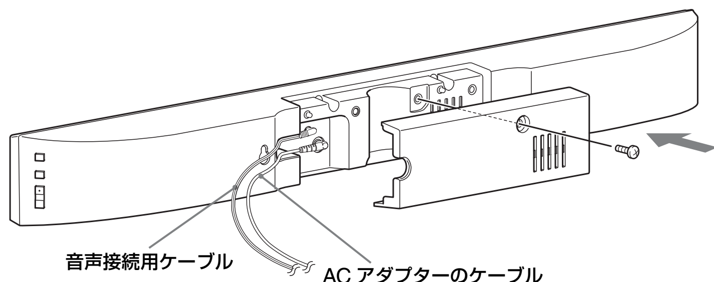
ご注意
お使いのテレビの取扱説明書をご確認ください。

B DC IN 18V 端子



電源コードを AC アダプターに接続します。その後、AC アダプターのコネクターを、本機背面にある DC IN 18V 端子に接続します。コードの接続を終えたら、電源コードをコンセントに差し込んでください。

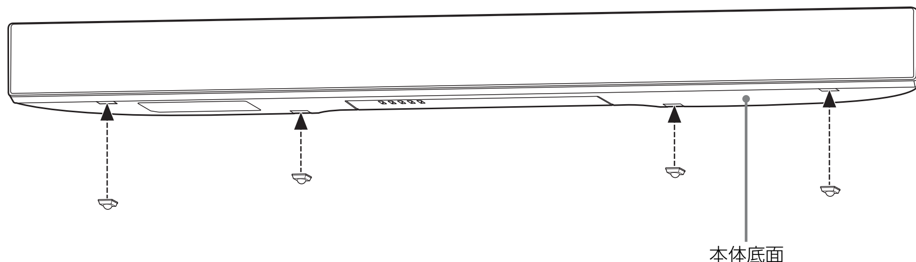
3 **音声接続用ケーブルと AC アダプターのケーブルをリアカバーの側面にある切り込みへ通してリアカバーを本体に取り付け、手順 1 ではずしたネジで固定する。**



本体を設置する

本体を平面に設置する

付属のフットパッドを下図のように取り付けて揺れや振動を防ぎます。



ご注意

本機をテレビの前に設置する場合は、テレビ前面部のリモコン受光部など、各種センサーや 3D メガネ用トランスミッターを隠さないようにテレビと本機を離して設置してください。

次のページへつづく

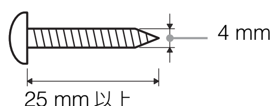
本体を壁に設置する

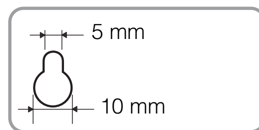
本体を壁に取り付けられます。

ご注意

• 壁の材質や強度に合わせたネジを使ってください。壁の材質によっては破損する恐れがあります。ネジは柱部分にしっかりと固定してください。スピーカーは補強された壁に水平に取り付けてください。
• 販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。
• 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切責任を負いません。

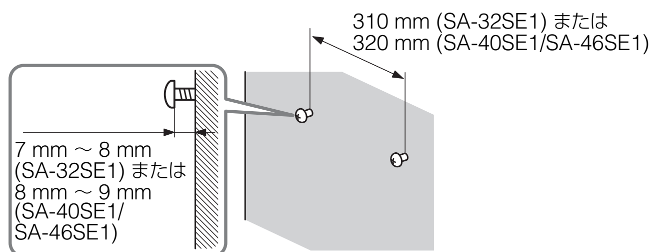
1 **本体背面のフック部に合うネジ（別売り）を用意する。下図をご確認ください。**





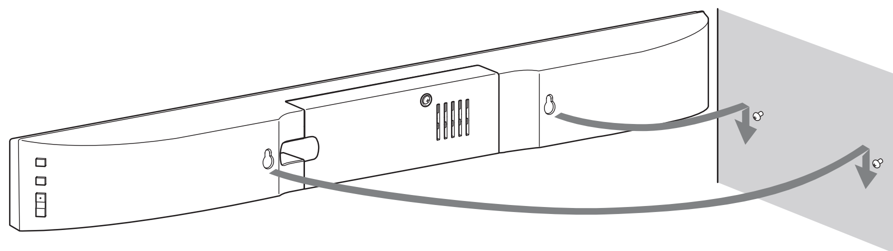
本体背面のフック部

2 **ネジを壁に取り付ける。ネジは完全に締めずに、壁から少し突き出した状態にする。下図をご確認ください。**



3 **本体をネジに掛ける。**

壁に取り付けた２つのネジに本体背面のネジ穴を合わせ、本体をネジに掛けます。



本体をテレビに設置する

別売りのスピーカー取り付けブラケットを使用し、本機をテレビに取り付けられます。対応のテレビおよびスピーカー取り付けブラケットの詳細については、別紙「対応表」をご覧ください。

テレビの音を本機のスピーカーで楽しむ

テレビの音を楽しむ

1 **本機の電源を入れる、または本機がスタンバイ状態であることを確認する。**

2 **テレビの電源を入れる。**

本機がスタンバイ状態のとき、テレビの音声を検出すると自動的に電源が入ります。

3 **本機の音量を調節する。**

ご注意

ご使用のテレビの外部音声出力の大きさが変更できない場合、本機の音量を調節してご使用ください。

テレビの音量を調節して本機の音の大きさを変える

ご使用のテレビの外部音声出力を"可変"に設定できる場合、テレビの音量を調節して音の大きさを変えることができます。
テレビの設定についてはご使用のテレビの取扱説明書をご覧ください。

1 **テレビの外部音声出力を"可変"にする。**

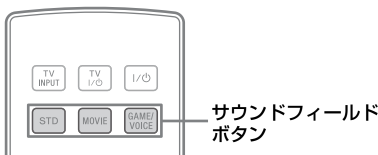
2 **本機の音量をテレビに合わせて調節する。**

1. 2. を設定するとテレビの音量を調節して本機の音の大きさを変えることができるようになります。

ご注意

ご使用のテレビの外部音声出力を"可変"に設定して本機から十分な音量が得られない場合、テレビの外部音声出力を"固定"にして本機の音量を調節してご使用ください。

サウンドフィールドを選択する



ご使用になりたいサウンドフィールドのボタンを押す。

本体の SOUND FIELD ボタンも使用できます。

サウンドフィールド	効果
STANDARD (STD)	どんなソースにも幅広く対応します。
MOVIE	迫力のあるサウンドと臨場感が楽しめます。
GAME/VOICE	セリフが聞き取りやすく、明瞭感のあるサウンドが楽しめます。

故障かな？と思ったら

本機の使用中に以下のような問題が発生した場合、本ガイドをご覧になって処置を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

- AC アダプターと電源コードが正しく接続されているかを確認してください（13 ページ）。
- 本機の I/⏻（電源）ボタンを押して、本機のサウンドフィールドランプを緑色に点灯させて下さい。

本機が自動的にスタンバイ状態になってしまう。

- 約 5 分間音声入力がないと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。

サウンド

音が出ない、または非常に音量が小さい。

- 本体とテレビの音声接続用ケーブルがしっかり差し込まれているかを確認してください（12 ページ）。
- VOL ⊿ + ボタン（本体では ⊿ + ボタン）を押して本機の音量を大きくしてください（9 ページ）。
- TV の消音機能を解除してください。
- ヘッドホンがテレビに接続されていないかを確認してください。

音声がずれて聞こえる。

- ご使用のテレビによっては本機とテレビの両方から音を出すと音声がずれて聞こえることがあります。テレビの外部音声を設定できる場合は“固定”にして下さい。テレビの音声を最小または消音にして、本機の音量を調節してご使用下さい。
- 他のホームシアターシステムを同時にお使いの場合は、本機の電源をオフ（切）にしてください。

音が歪む。

- TV VOL ⊿ –ボタンを押してテレビの音量を小さくしてください（10 ページ）。
- VOL ⊿ –ボタン（本体では ⊿ –ボタン）を押して本機の音量を小さくしてください（9 ページ）。

ノイズが出る。

- 本機の近くで携帯電話や電波を発する機器を使用している場合、本機から離してください。
- 本機をテレビのヘッドホン端子に接続していませんか？音声出力端子に接続してください。

リモコン

リモコンで操作ができない。

- リモコンを本体のリモコン受光部に向けてください（9 ページ）。
- リモコンと本体の間にある障害物を取り除いてください。
- 電池が消耗している場合は、リモコンの電池を新しいものに交換してください。

その他

STANDBY ランプが点滅する。

- すぐに本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。
- 本機の通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。

上記の対策を行っても本機が正常に動作しない場合は、次の手順で本機をリセットしてください。

本体のボタンを押して、操作してください。

1 **I/⏻ ボタンを押して電源を入れる。**

2 I/⏻ ボタンを５秒間押し続ける。

STANDBY ランプが３回点滅して、本機はリセットされ、初期状態になります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、TV サウンドバーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：SA-32SE1/SA-40SE1/SA-46SE1
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

主な仕様

アンプ部

実用最大出力（非同時駆動、JEITA*）
20 W + 20 W, 8 Ω, 1 kHz

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

スピーカー部

フロントスピーカー

形式	フルレンジ、パッシブラジエータ方式
使用スピーカー	
SA-32SE1	65 mm（コーンタイプ） 70 mm × 100 mm（パッシブラジエータ）
SA-40SE1/SA-46SE1	65 mm（コーンタイプ） 65 mm × 2（パッシブラジエータ）
定格インピーダンス	8 Ω

その他

入力	AUDIO IN 端子 (1)
電源	DC 18 V (2.6 A)（付属 AC アダプター使用時 100 V - 240 V AC、50/60 Hz）
消費電力	スタンバイ時：0.5 W 以下

本体

最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）

SA-32SE1	約 754.2 mm × 80 mm × 76.7 mm
SA-40SE1	約 942.4 mm × 80 mm × 67.7 mm
SA-46SE1	約 1077.6 mm × 80 mm × 67.7 mm

質量

SA-32SE1	約 1.9 kg
SA-40SE1	約 2.2 kg
SA-46SE1	約 2.5 kg

AC アダプター

入力	100 V - 240 V AC、50/60 Hz
出力	DC 18 V、2.6 A
最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）	約 121 mm × 33 mm × 53 mm
質量	約 240 g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



省エネルギー　•オートオフ機能

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ **0120-333-020**
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥‥ **0466-31-2511**

修理相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ **0120-222-330**
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥‥ **0466-31-2531**

※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。



左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「306」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） **0120-333-389**

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



* 4 2 6 9 5 4 4 0 2 * (1)

Sony Corporation　Printed in Malaysia